



NEWS RELEASE

報道機関の皆様へ

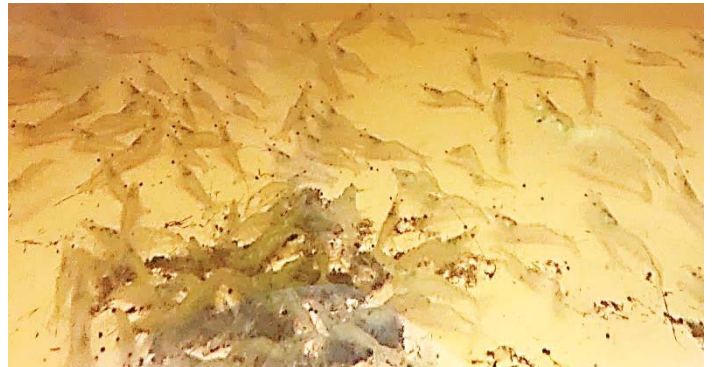
2018年2月27日

入試広報部

“理大エビ”初出荷、三越日本橋本店で販売へ

好適環境水を使って岡山理科大学で養殖していた「バナメイエビ」が順調に育ち=下の写真、3月7日から東京日本橋の三越日本橋本店で販売されることになりました。理大の研究力の成果が、首都の消費者にどう評価されるのか、関係者は大いに期待しています。

出荷するエビは昨年12月、タイから1万匹の稚エビを輸入し、好適環境水で養殖していたものです。当初は重さ1匹8ミリグラム程度だったのが、現在では14~15グラムにまで成長。出荷段階では20~25グラムにまで育つ予定です。



この一部を試験的に岡山市内のすし店などに出したところ、食べた客の反応は「甘くておいしい」と好評でした。今回が初出荷となります。

好適環境水による養殖魚は、2011年7月にフグを出荷して以来、ヒラメ、クエ、ウナギ、シマアジ、クロマグロ、ブラックタイガーなどを市場に出しています。

三越側からのオファーで実現「画期的な養殖技術紹介したい」

今回の販売は三越側からのオファーで実現しました。三越伊勢丹食品統括部・日本橋商品部の生鮮バイヤーの杉崎義英さんは「百貨店には天然魚を重用する傾向があるが、安定的な供給が可能な養殖魚に注目している。好適環境水による画期的な養殖技術も紹介していきたい」と話しています。

山本准教授「山で生産したエビが東京でどう評価されるか楽しみ」

一方、好適環境水を開発した山本俊政バイオ・応用化学科准教授は「山で生産したエビが、消費の中心地・東京でどう評価されるか、楽しみです。市販されているバナメイエビとの味の違いを感じてほしい」と期待しています。

<販売期間> 3月7日(水)~13日(火)

<販売場所> 東京都中央区日本橋室町1-4-1、三越日本橋本店・本館地下1階・生鮮コーナー「吉川水産」

◆本資料に関するお問い合わせは入試広報部(086-256-8412)白神まで。